

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	中央緊急対応基金（CERF）拠出金 （任意拠出金）	担当部署	国際協力局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長	青木 豊			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅷ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献					
根拠法令 （具体的な条項も記載）	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、通知等	第60回国連総会決議60/124(2005年)					
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	中央緊急対応基金(CERF)は、国連人道支援改革の一環として設置されたものであり、大規模災害・紛争発生時に緊急人道支援に関する初動財源を補填することにより、被害の拡大を最小限にすること、及び、ドナーからの援助が行き渡らない資金不足の危機(いわゆる「忘れられた危機」)への対応を可能にすることを主な目的として活動。同基金への拠出を通じて、人道支援に対する積極的な姿勢を内外に示すと共に、最も脆弱な人々を支援する。							
事業概要 （5行程度以内。別添可）	CERFは、国連機関を通じて人道支援を行うための初期活動の支援を行っている。具体的には、活動を行う国際機関が、当該初期活動・危機的人道状況の改善を行うために必要なプログラムを、緊急援助調整官(CERF事務局)に対して申請し、活動要件に該当する場合には、右活動資金が供与される。CERFへの拠出を通じ、国際社会における人道支援の初動対応の強化、緊急人道支援の対応能力の拡充につながり、効率・効果的な緊急人道支援体制の確立に大きく貢献する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 （単位：百万円）		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	103	188	267	219	239	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	103	188	267	219		
	執行額	103	188	267				
執行率（%）	100	100	100					
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 （年度）	
	人道危機への迅速な対応 （支援を受けた被災者）		成果実績	万人	n/a	2,200	3,500	
	(注)基金全体の目標及び成果		達成度	%	-	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①拠出先国数 ②支援プロジェクト数		活動実績 （当初見込み）	①国 ②件	①51 ②466	①45 ②469	①45 ②473	—
	(注)基金全体の指標及び実績				()	()	()	
単位当たり コスト	約13.3ドル/人		算出根拠	2011年の総事業額(465百万ドル)÷裨益者(3千5百万人)＝約13.3ドル				
平成24・25年度 予算内訳 （単位：百万円）	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	中央緊急対応基金 （CERF）拠出金	218	239					
	計	218	239					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	CERFは、大規模災害・紛争への初動的緊急援助や「忘れられた危機」への支援を行っており、効果的な人道支援の実施や、「人間の安全保障」の実現に貢献していることから、国として支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	CERFは、諮問機関の設置、監査・報告体制の確立等を通じ、効果的・効率的に業務を行っている。予算の使途は、真に必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	CERFは、大規模災害・紛争への初動的緊急援助や忘れられた危機への支援など国際的な人道支援活動の中で重要かつ実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き効果的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	116	平成23年行政事業レビュー	104